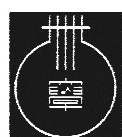


2025 年度

特待生試験 課題



名古屋音楽大学
Nagoya College of Music



特待生試験要項

◆対象コース

全コース（音楽総合コースを除く）

◆受験対象者

第1次特待生試験対象者：学校推薦型選抜、総合型選抜（1～4回目）、一般選抜（A日程）の全合格者のうち、本学が選出する者。（選出された者は、「合格通知書」と同封にてお知らせいたします）

第2次特待生試験対象者：学校推薦型選抜、総合型選抜（1～5回目）、一般選抜（A日程・B日程）の全合格者のうち、本学が選出する者。（選出された者は、「合格通知書」と同封にてお知らせいたします）

※第1次特待生試験を受験し、特待生候補に該当しなかった場合は、第2次特待生試験を受験することができます。

検定料は別途必要です。

※一般選抜の合格者は入学手続きの一次納入金（入学金）を納付済みであること。

※電子オルガンコースで実技選抜が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

◆特待内容

特待生試験の結果に基づき、1年次の授業料の全額、半額、または4分の1の額を奨学金として支給します。

◆出願期間・試験日・結果発表

第1次 特待生 試験	申込期間	2025年1月30日(木)～2月7日(金)	※郵送のみ・消印有効
	試験日	2025年2月13日(木)	
	結果発表	2025年2月14日(金)	本人宛発送
第2次 特待生 試験	申込期間	2025年2月17日(月)～3月11日(火) ※郵送・必着〔3月11日(火)10:00～15:00のみ窓口受付〕	
	試験日	2025年3月13日(木)	
	結果発表	2025年3月14日(金)	本人宛発送

◆試験科目

実技試験（オーディション形式）または、小論文。

◆検定料 5,000円

銀行振込みのみ（Webでの出願ではありません）。本学所定振込用紙を使用し、取扱銀行窓口で収納印欄に押印したものを、特待生試験申込書の指定の欄に貼付してください。一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

◆伴奏について

声楽コース、ミュージカルコース（ヴォーカル）を受験する者はピアノ伴奏譜を提出のこと。

上記のコースに関しては、伴奏者は本学が用意します。伴奏者同伴の必要はありません。

管楽コース、弦楽コース、打楽コースにおいて、伴奏を伴う楽曲を演奏する場合には伴奏者を同伴すること（ピアノに限る）。伴奏者の同伴が困難な場合は名古屋音楽大学入試・広報センターまでに申し出ること。申し出は、第1次特待生試験の場合は2月6日(木)16時まで、第2次特待生の場合は3月7日(金)16時までに行うこと。

◆注意事項

(1)特待生に選出された場合には、入学後(6月下旬頃)、本学より免除相当額を指定口座に振込みます。

第1次特待生試験の中で、4年間継続特待生も審査します

お問合せ先

名古屋音楽大学 入試・広報センター

TEL. 052-411-1545 または E-mail kouho_on@meion.ac.jp

各コース別 特待生試験課題

全ての実技試験において演奏を途中で切る場合があります。

【音楽学科】

ピアノ演奏家コース

次の曲を演奏する。すべて暗譜のこと。曲順は自由。

A) エチュード F.Chopin、F.Liszt、C.Debussey、A.Scriabin、S.Rachmaninov、B.Bartók、I.Stravinsky、K.Szymanowski、S.Prokofiev、G.Ligeti から任意の 1 曲

B) 時代が異なる自由曲 2 曲(自由曲の合計が 14 分以上であること)

※ 内部奏法等を含む作品は除く

ピアノコース

次の曲を演奏する。すべて暗譜のこと。曲順は自由。

A) F.Chopin : Etudes op. 10、op. 25 より任意の 1 曲

B) 時代が異なる自由曲 2 曲(自由曲の合計が 10 分以上であること)

指揮コース

指揮コース (プロフェッショナル)

指揮実技

課題曲

A ウェーバー：魔弾の射手「序曲」

B グリーグ：ペール・ギュント第一組曲より第二曲「オーゼの死」

以上 2 曲の指揮をする(ピアノ 2 台 4 手)

初見実技

3 分間の読譜の後、ピアノ 2 台 4 手を指揮する

指揮コース (指導者)

指揮実技

課題曲

下記 (1) ～ (3) より 2 つを選択し、指揮をする(ピアノ 2 台 4 手)

(1) モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク第 1 楽章

(2) ベートーヴェン：交響曲 第 5 番「運命」より第 1 楽章

(3) リード：アルメニアンダンス パート 1 (Sam Fox 版) から連続する 2 曲を自由選択する。

1. Tzirani Tzar 「杏の木」

2. Gakavi Yerk 「ヤマウズラの歌」

3. Hoy, Nazan Eem 「おーい、僕のナザン」

4. Alagyaz 「アラギャズ山」

5. Gna, Gna 「行け、行け」

例) 2 と 3、4 と 5 など。

管楽コース

暗譜の必要なし。伴奏を伴う楽曲を演奏する場合には、伴奏者を同伴すること(ピアノに限る)。

＜伴奏者の同伴が困難な場合は名古屋音楽大学入試・広報センターまでに申し出ること。申し出は、第1次特待生試験の場合は2月6日(木) 16時まで、第2次特待生の場合は3月7日(金) 16時までに行うこと＞

フルート

次の曲を演奏する。

W. A. Mozart : Concerto No. 1 K. 313 より第1楽章

Concerto No. 2 K. 314 より第1楽章

(版の指定なし)カデンツを除く。

オーボエ

次の曲を演奏する。

F. J. Haydn : Concerto より第1楽章 (版の指定なし)

クラリネット

次の4曲より任意の1曲を演奏する。

1. C. M. v. Weber : Concerto No. 1 op. 73 より第1楽章(版の指定なし)

2. C. M. v. Weber : Concertino op. 26 (版の指定なし)

3. F. Krommer : Concerto Op. 36 より第1楽章(版の指定なし)

4. Eugene Bozza : Fantaisie Italienne pour Clarinette et Piano (Leduc 版)

ファゴット

次の2曲より任意の1曲を演奏する。

1. A. Vivaldi : Concerto in d minor op. 45 No. 7. FVIII-5 より第2、第3楽章

(版の指定なし)

2. Karl Stamitz : Konzert F-dur für Fagott und Orchester より1楽章カデンツァなし(SIKORSKI 版)

サクソフォーン

次の4曲より任意の1曲を演奏する。

1. A. Glazounov et A. Petiot : Concerto en Mi bémol 練習番号1～16まで(Leduc 版)

2. J. Ibert : Concertino da camera 第1楽章(Leduc 版)

3. A. Désenclos : Prélude, Cadence et Finale よりPrélude, Cadence (Leduc 版)

4. R. Boutry : Divertimento 第2, 3楽章(Leduc 版)

ホルン

次の2曲より任意の1曲を演奏する。

1. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 3 より第1楽章(Bärenleiter 版)カデンツァを除く。

2. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 4 より第1楽章(版の指定なし)カデンツァを除く。

トランペット

次の4曲より任意の1曲を演奏する。

1. C. Saint-Saëns : Fantaisie (Leduc 版)
2. G. Alary : Morceau de Concours (版の指定なし)
3. E. Bozza : RUSTIQUES (Leduc 版)
4. A. Arutiunian Concerto for Trumpet (ISR 版) 全音楽譜出版社

トロンボーン

次の6曲より任意の1曲を演奏する。

1. F. David : Concerto in E♭ op. 4 より第1、第2楽章 (Zimmermann 版)
2. Eric Ewazen : SONATA for TROMBONE and PIANO (CONCERTO No. 1 for TROMBONE) より第1楽章 (Southern music 版)
3. Stjepan Sulek : SONATA (Vox Gabrieli) for TROMBONE and PIANO (Bim 版)
4. Rimsky Korsakoff : Trombone Concerto (Boosey & Hawkes 版)
5. Camille Saint-Saëns : Cavatine op. 144 (Durand 版)
6. E. Sachse : Concertino in B♭ (International Music Company 版)

バストロンボーン

次の3曲より任意の1曲を演奏する。

1. F. David : Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone より第1、第2楽章 (Zimmermann 版)
2. E. Bozza : New Orleans (Alphonse Leduc 版)
3. E. Sachse : Concerto (Concertino) in F for Bass (Trombone Zimmermann 版)

ユーフォニアム

次の4曲より任意の1曲を演奏する。

1. P. V. de la Nux : Solo de Concours (Leduc 版)
または P. V. de la Nux : Concert piece (Southern music 版)
2. A. Capuzzi : Andante and Rondo (Hinrichsen 版 1474)
3. Philip Sparke : Variants on an English Hymn Tune (Anglo music 版)
4. Rolf Wilhelm : Concertino for Euphonium (TRIO Blasermusik 版)

チューバ

次の2曲より任意の1曲を演奏する。 B♭管、またはC管を使用すること

1. A. Lebedjew : Konzert Nr. 1 (Hoffmeister 版)
2. W. S. Hartley : Suite for Unaccompanied Tuba 全楽章 (Elkan-Vogel 版)

弦楽コース

暗譜の必要なし。伴奏を伴う楽曲を演奏する場合には、伴奏者を同伴すること(ピアノに限る)。

＜伴奏者の同伴が困難な場合は名古屋音楽大学入試・広報センターまでに申し出ること。申し出は、第1次特待生試験の場合は2月6日(木) 16時まで、第2次特待生の場合は3月7日(金) 16時までに行うこと＞

ヴァイオリン

N. Paganini : 24 Caprices op. 1 より 1 曲、および任意の協奏曲より 1 つの楽章を選択して演奏する。

(版の指定無し)

ヴィオラ

B. Campagnoli : 41 Caprices より 1 曲、または任意の協奏曲より 1 つの楽章を選択して演奏する。

(版の指定無し)

チェロ

J. L. Duport : The 21 Famous Exercises (Etudes) より 1 曲、または任意の協奏曲より 1 つの楽章を選択して演奏する。

(版の指定無し)

コントラバス

任意のソナタ、または協奏曲より 1 つの楽章を選択して演奏する。

(版の指定無し)

ハープ

次の曲を演奏する。

G. F. Haendel : Concerto en si b 第1楽章

(transcription pour harpe seule et cadence originale de MARCEL GRANDJANY)

(版の指定無し)

打楽コース

伴奏を伴う楽曲を演奏する場合には、伴奏者を同伴すること(ピアノに限る)。

＜伴奏者の同伴が困難な場合は名古屋音楽大学入試・広報センターまでに申し出ること。申し出は、第1次特待生試験の場合は2月6日(木) 16時まで、第2次特待生の場合は3月7日(金) 16時までに行うこと＞

マリンバ

自由曲1曲を暗譜で演奏する。

小太鼓

暗譜の必要なし。自由曲を1曲演奏する。

邦楽コース

箏

すべて暗譜のこと。

次の曲を演奏する。

“みだれ” 八橋検校

三味線

すべて暗譜のこと。

次の曲を演奏する。

長唄 越後獅子(九代目 杵屋六左衛門／作曲)

尺八

暗譜の必要なし。

次の曲を演奏する。

杵屋正邦 「一定」(尺八独奏曲)

発行所(株)博信堂

声楽コース

以下に定められた声楽曲3曲を演奏すること。

- ・任意のイタリア古典歌曲1曲
- ・任意の日本歌曲1曲
- ・5分以内の自由曲(任意の曲)

すべて暗譜のこと。ピアノ伴奏楽譜を提出のこと。伴奏者同伴の必要はなし。

*原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。

*アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。

(例：歌劇『セビリアの理髪師』から「今の歌声は」をへ長調で歌うなど)

ミュージカルコース

A)、B)、C) の3つを受験すること。

A)・B) は、すべて暗譜のこと。ピアノ伴奏楽譜を提出のこと。伴奏者同伴の必要はなし。

A) ヴォーカル 3分程度の自由曲を1曲演奏する。(ミュージカルの曲を選曲し、原語で歌う)

B) ヴォーカル課題曲と重複しないこと。

B) ヴォーカル 下記の課題曲より一曲を選択し、演奏する。

課題曲[女性]

番号	曲目	調性	作曲者	楽譜
1	《THE WIZARD OF OZ》より Over The Rainbow	E♭ major	HAROLD ARLEN	出版社：シンコーミュージック ミュージカル・ベスト・コレクション (改訂版)
2	《MY FAIR LADY》より I Could Have Danced All Night	C major	FREDRICK LOEWE	出版社：シンコーミュージック ミュージカル・ベスト・コレクション (改訂版)
3	《CATS》より Memory	B♭ major	A. L. WEBBER	出版社：シンコーミュージック
4	《Les Misérables》より I Dreamed a Dream	F major	CLAUDE-MICHEL SCHÖNBERG	出版社：ドレミ楽譜出版社 ミュージカルサウンズ・シリーズ

課題曲[男性]

番号	曲目	調性	作曲者	楽譜
5	《MY FAIR LADY》より On The Street Where You Live	B♭ major	FREDERICK LOEWE	出版社：シンコーミュージック ミュージカル・ベスト・コレクション (改訂版)
6	《Les Misérables》より Empty Chairs at Empty Tables	A minor	CLAUDE-MICHEL SCHÖNBERG	出版社：ドレミ楽譜出版社 ミュージカルサウンズ・シリーズ
7	《BEAUTY AND THE BEAST》より If I Can't Love Her	C major	ALAN MENKEN	出版社：Hal Leonard ブロードウェイ・ミュージカル版
8	《Aladdin》より Proud of Your Boy	D major	ALAN MENKEN	出版社：ヤマハミュージックメディア ブロードウェイ・ミュージカル版 ピアノ・ヴォーカル セレクション

(注)・課題曲の調は表記された調のみとする。

・課題曲は全て原語で歌うこと。

・課題曲の楽譜については本大学にお問い合わせください。

C) ダンス バレエまたはジャズダンスのどちらかを踊る。

(1) バレエはクラシックバレエからヴァリエーション (3分程度) を踊る。

(2) ジャズダンスは自由曲 (3分程度) を踊る。

(注)・いずれも音源は (CD) 各自で用意すること。

・動きやすい服装と靴を着用のこと。

作曲・音楽クリエイションコース

下記のAまたはBより選択して受験する。

A) 当日与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲する（試験時間 3 時間）。

*編成は自由

*作曲にあたり、ピアノを使用してもよい

*ネット接続は不可

B) 当日与えられたモチーフより 1 つを選択し、作品を制作する（試験時間 2 時間）。

*大学の機材を使用する場合、使用出来る音楽制作ソフトはマックで「Logic Pro」

*DAW やソフト音源がインストールされているノートパソコン、MIDI キーボード、ヘッドフォン持ち込みでの受験可

*ネット接続は不可

メディアサウンドデザインコース

① 出願書類に加えて、以下の 2 つの提出を申込期間内に行うこと。

●任意の作品提出（5～10 分程度、mp3, wave, aiff 形式 複数曲の提出も可）

音源ファイルをオンラインストレージ（Google Drive, Dropbox 等）にアップロードし、ダウンロード可能なリンクをメールにて提出すること。【アドレス：kouho_on@meion.ac.jp】

●作品のコンセプトや発想の背景を 800 字程度で説明した文書の提出

書式は任意。作品設営図、イラスト、楽譜を含んでもよい。

②提出物の内容に基づいて、口頭試問を実施する。

創作過程について説明を行う。使用した技術やプロセス、音響処理、または他のクリエイティブなアプローチについて、具体的に述べる。

電子オルガンコース

自作または自編曲の楽曲を暗譜で演奏する（8 分以内）。

楽譜を提出すること（申込書提出時に同封すること）。

*試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02X(バイタライズ)、ELS-02C。

*レジストレーションは、USB メモリにてあらかじめ用意すること。

*MDR の使用範囲は、レジストレーションの読み込みに限る（演奏情報の読み込みは不可）。

ジャズ・ポピュラーコース

ピアノ・ベース・ギター・サキソフーン・トランペット・トロンボーン・ドラム

上記の楽器より 1 つを選択し、任意の 2 曲を以下のいずれかの方法で演奏すること。

1. 無伴奏

2. 受験者が用意したマイナスイオン音源（CD）に合わせて演奏する

3. 伴奏者を同伴すること（ピアノに限る）

ヴォーカル

ジャズ・スタンダードの中から、任意の2曲を選択し、以下のいずれかの方法で演奏すること。

1. 無伴奏
2. 受験者が用意したマイナスイワン音源（CD）に合わせて演奏する
3. 伴奏者を同伴すること（ピアノに限る）

音楽教育コース

小論文（1,200字程度・試験時間 2時間）

音楽療法コース

小論文（1,000字から1,600字・試験時間 2時間）

音楽総合コース

任意の楽器（邦楽器を含む）または声楽曲による演奏。

演奏曲目は各コースに記載の課題とする。

音楽ビジネスコース

小論文（800字程度・試験時間 90分）